馬耳東風

今年の冬は厳しく長かった．雪国にお住まいの方々のご苦労に心底よりご同情申し上げる．この厳しい寒さが地球温暖化の影響だと言われても地学に暗い私には理解できない．例年だと2月の中旬には聞かれる散歩道のウグイスの初鳴きが，1カ月近く遅かった．ウグイスよりも早く春近しと知らせてくれたのは愛犬であった．人間はまだ冬の衣服で縮こまっているのに，後肢の被毛が冬毛から夏毛に替わり始めたのである．雪国に赴任していたとき，4月上旬に雪が融け始めると雪の下にはさまざまな植物が芽吹いていて感動したものだが，そのときのことを思い出してしまった．自然の摂理といえばそれまでだが，動植物に比べて人間は随分と鈍感なようである．しかしわれわれ日本人は，外国人より自然の変化に敏感なのではなかろうか．日本列島は南北に3,000kmあり，最北端と最南端の気候は大きく異なっているが，それでも四季があり，折々の変化を楽しむことができる．自然が恵んでくれたこの楽しみは熱帯や寒帯の国々に住む人たちには到底理解できないことであろう．もちろん熱帯には熱帯の寒帯には寒帯の自然の恵みがあり，熱帯のトロピカルフルーツや寒帯の白夜やオーロラには私も魅力を感じる．

トロピカルフルーツといえば，果物の女王と呼ばれるマンゴスチンの味が忘れられない．マンゴスチンは濃紺の厚い果皮を持った柿のような外観で，これを割ると中には真っ白い柔らかい果肉がミカンのように房状に詰まっており，食すと爽やかな酸味と何とも言えぬ上品な甘さが口一杯に拡がる．この果物を初めて食べたとき，現地の人にマンゴスチンのシーズンはいつかと尋ねたところ，出回った時がシーズンだという返事であった．何月から何月までという返事を期待し，そのように尋ねたにも拘わらずである．比較的長期間出回ることも影響しているのであろうが，彼らにはシーズンや月という感覚がないのでは？と疑問に感じたものである．月平均29～30℃の気温が一年中続くとあれば当たり前のことなのかも知れないが……．この国に滞在したのはたった3カ月であったが，マンゴスチン以外にも日本では手が出ないトロピカルフルーツが安価でふんだんに食べられたことは大きな魅力ではあった．しかし四季折々の移ろいが感じられない風土に長く住むことはできないなと感じたことが強く記憶に残っている．花より団子という諺があるが，これは実利を重んじるあまり花鳥風月にはまるで関心を示さない少数の人間に対するアイロニーであり，われわれ日本人の多くは，団子より花をとるDNAを持っているのではないかと思う．

ところで，東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から1年以上経過したが，被災者の方々はどのような生活を送られているのであろうか．団子より花をとるDNAを持っているわれわれといえども，自宅を追われ，職を失い，明日の生活のめどが立たない状況ではとても花鳥風月に心を寄せる余裕は持てないのではないかと危惧する．ニュースで見聞きする限り，復興は遅々としてはかどらず，瓦礫の処理に関しては住民エゴという大きな壁が立ちはだかっているようである．四季の変化に敏感なわれわれ日本人は，他人の困難にも敏感なはずである．貧しい者同士が助け合って戦後の復興を成し遂げた先人たちを見習い，被災者の方々が一日も早く花を愛でることができるよう力を合わせたいものである．

（久）